

Microsoft
公式

導入のための必携書 アップグレードと新機能

Windows 11

徹

底

解

剖



はじめに

Windows 11 はハイブリッドワークのためにデザインされ、「生産性」「コラボレーション」「安全性」「一貫性」に優れています。
本書では Windows 11 の導入を支援する目的で、導入の方法と機能について詳しく解説します。

目次

1 必要スペック

- 1-1 必要スペック リスト
- 1-2 Windows 11 にアップグレードできる？
PC 正常性チェックアプリを使って確かめてみよう
- 1-3 必要スペック対処法

2 アップグレード

- 2-1 アップグレードの前に
- 2-2 Windows アップデートからのアップグレード
- 2-3 すぐにアップグレードしたい場合：
Windows 11 インストール アシスタント
- 2-4 Windows 10 に戻す方法

3 Windows 11 で追加された機能

- 3-1 ウィジェット機能 (ウィジェットの復活)
- 3-2 Microsoft Teams の実装 (新しくなったチャット)
- 3-3 スナップ レイアウトとスナップ グループ
(ウィンドウのグループ化)
- 3-4 Power Automate の実装

4 Windows 11 で変更された機能

- 4-1 スタート メニュー
- 4-2 標準ブラウザ Microsoft Edge と IE の廃止

5 Windows 11 でも引き継がれる機能

- 5-1 WaaS 仕様変更
- 5-2 ランサムウェアの防止によるセキュリティ強化

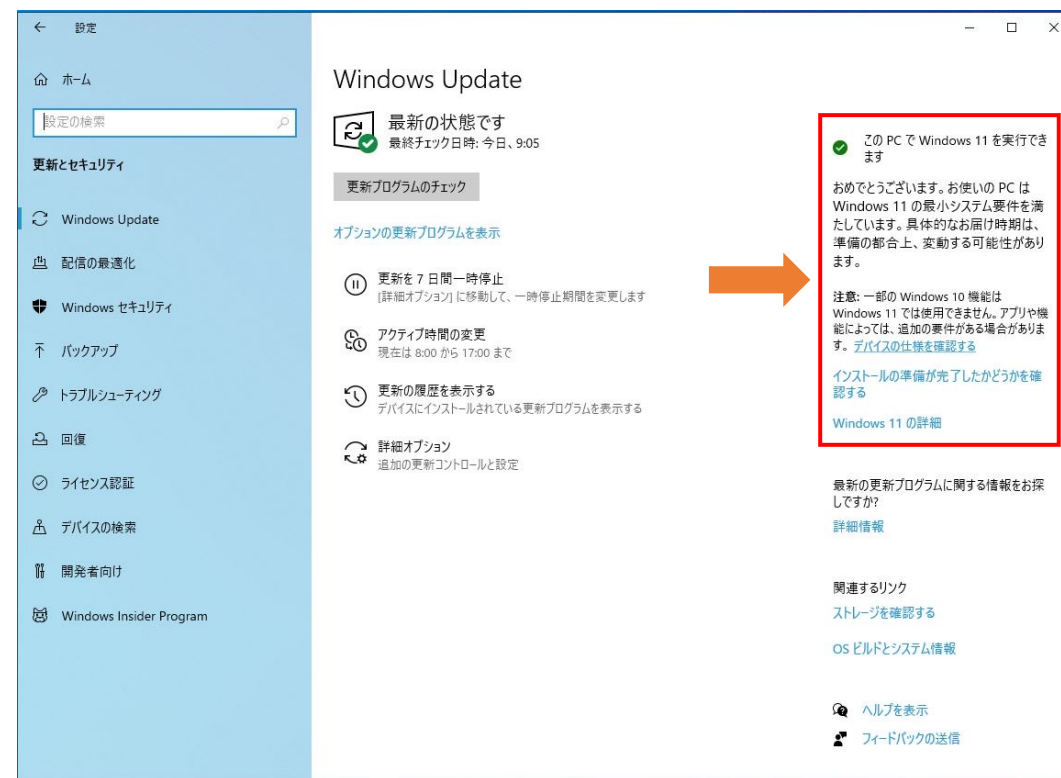
1 必要スペック

1-1 必要スペック リスト

プロセッサ (CPU)	Intel : 第 8 世代以降、AMD : Zen2 以降 対応する Intel プロセッサ 対応する AMD プロセッサ
メモリ	4 GB 以上
ストレージ	64 GB 以上
システム ファームウェア	UEFI、セキュア ブート対応
TPM (トラステッド プラットフォーム モジュール)	バージョン 2.0
グラフィック カード	DirectX 12 以上 (WDDM 2.0 ドライバー) に対応
ディスプレイ解像度	9 インチ以上で 8 ビット/カラー チャンネルの高精細 (720p) ディスプレイ
その他	Microsoft アカウント、インターネット接続、Windows 10 バージョン 2004 以降、Windows 10 ライセンス

概ね、Intel 製の CPU を採用した PC の場合、2018 年春以降のモデル、AMD 製の CPU を採用した PC の場合、2019 年夏以降のモデルが該当。

[スタート] → [設定] → [更新とセキュリティ] と進み、Windows Update の画面で「この PC で Windows 11 を実行できます」と表示されていれば、アップグレードできます。



※ Windows 11 アップグレードは、2021 年後半から 2022 年にかけて対象デバイスに提供される予定。デバイスによって時期が異なります。機能によっては追加ハードウェアが必要です。

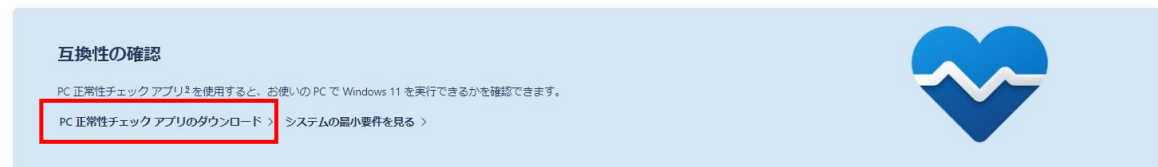
表示されていない場合は、次のページの「PC 正常性チェック アプリ」を実行します。

1 必要スペック

1-2 Windows 11 にアップグレードできる？ PC 正常性チェック アプリを使って確かめてみよう

「PC 正常性チェック アプリ」を利用すると、Windows 11 へのアップグレードの可否、問題点などをチェックしてくれます。

[こちら](#)を開き「互換性の確認」からアプリをダウンロードし、インストールします。



「PC 正常性チェック アプリ」を起動し、今すぐチェックをクリックします。



アップグレード要件を満たしている場合は、「この PC は Windows 11 の要件を満たしています」と表示されます。



アップグレード要件を満たしていない場合は、どこが要件を満たしていないポイントなのか確認できます。

1 必要スペック

1-3 必要スペック対処法

「PC 正常性チェック アプリ」で Windows 11 へのアップグレード要件を満たしていないと表示された場合でも、次のように対処することでアップグレードできる場合があります。

- **プロセッサに問題がある場合**

現時点では、必要スペック リストに満たないプロセッサでは、アップグレードできません。

- **メモリ サイズが足りない場合**

メモリの増設を行います。Windows 11 が快適に動作するには 8 GB 以上のメモリ サイズが推奨です。

- **ストレージ サイズが足りない場合**

ストレージの増設、入れ替えを行います。

- **システム ファームウェア/TPM に問題がある場合**

メーカー製 PC の場合は、メーカーのサポート ページを確認し、Windows 11 へのアップグレード方法について確認します。

自作 PC の場合、マザーボードのメーカー ページより BIOS の設定を確認し TPM を有効にします。最新の BIOS に更新することで解決する場合があります。

主要 PC メーカー Windows 11 アップグレード対応機種情報



[Microsoft Surface](#)

[ASUS](#)

[Dell Technologies](#)

[日本HP](#)

[MSI](#)

[パナソニック コネク](#)

[富士通 \(法人向け\)](#)

[Acer](#)

[Dynabook](#)

[レノボ・ジャパン](#)

[NEC](#)

[VAIO](#)

[マウスコンピューター](#)

2 アップグレード

2-1 アップグレードの前に

- Windows 11 へのアップグレードを始める前に、PC にインストールされているアプリや接続されているデバイスの対応状況を確認しましょう。

PC が Windows 11 へのアップグレード要件を満たしていても、インストールされているアプリや接続されているプリンターなどのデバイスが Windows 11 に対応していない場合があります。

- インストールされているアプリのサイトや販売元のサイトで対応状況を確認します。インストールされているアプリのバージョンによっては、対応していない場合もあるので要チェックです。

- デバイスのメーカーや販売元サイトで対応状況を確認しておきます。

- ・プリンターやコピー機などの外部接続の周辺機器
- ・各種インターフェイスカード、サウンドカードなどのパーツ類

※ 機械の制御ソフトやインターフェイス、企業用に開発されたアプリなど**特定の用途に利用されるアプリやデバイス類は、特に注意**が必要です。

- ファイルをバックアップしておく。

Windows 11 へのアップグレードでは、アプリやデータ類は引き継がれますが、念のため重要なファイルはバックアップしておきます。

- Windows 10 を最新の状態にアップデートしておく。

[スタート] → [設定] → [更新とセキュリティ] と進み、Windows Update の画面で更新状態を確認し、最新の状態にアップデートしておきます。

- Microsoft アカウント にログインします。

Microsoft アカウント へのログインまたは、アカウント取得は以下のページへアクセスします。

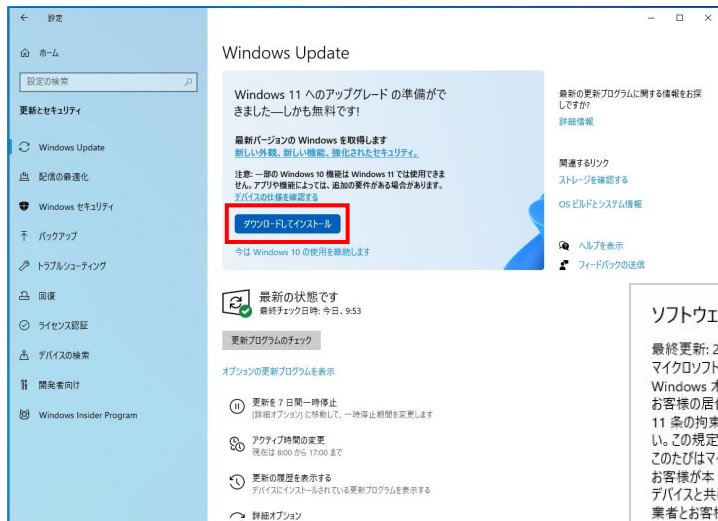
[Microsoft アカウントページ](#)



2 アップグレード

2-2 Windows アップデートからのアップグレード

[スタート] → [設定] → [更新とセキュリティ] と進み、Windows Update の画面で、「Windows 11 へのアップグレードの準備ができました—しかも無料です！」と表示されていれば、すぐにアップグレードできます。



Windows Update

Windows 11 へのアップグレードの準備ができました—しかも無料です!

最新の更新プログラムに関する情報をお探しいたしませんか?
詳細情報

最新の Windows を取得します
新しい外観、新しい機能、強化されたセキュリティ。

注意:一部の Windows 10 機能は Windows 11 では使用できません。アプリや機能によっては、追加の要件がある場合があります。
デバイスの要件を確認する

ダウンロードしてインストール

今、Windows 10 の使用を継続します

関連するリンク
ストレージを確認する
OS とハードウェアの情報
ヘルプを表示
フィードバックを送信

最新の状態で
最終チェック日時: 今日、9:53

更新プログラムのチェック

オプションの更新プログラムを表示

更新を 7 日間一時停止
(詳細オプション) に移動して、一時停止期間を変更します

アクティブ期間の変更
残りは 8:00 から 17:00 まで

更新の履歴を表示する
デバイスにインストールされている更新プログラムを表示する

詳細オプション

ソフトウェア ライセンス条項

最終更新: 2021 年 6 月
マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項
Windows オペレーティング システム
お客様の居住地 (または法人の場合は主たる業務地) が米国内である場合は、第 11 条の拘束力のある仲裁および集団訴訟の権利放棄に関する条項をご確認ください。この規定は、紛争を解決する方法に影響を及ぼします。このたびはマイクロソフトをお選びいただきありがとうございます。

お客様が本 Windows ソフトウェアを取得された方法に応じて、本文は、(i) お客様のデバイスと共に本ソフトウェアを頒布するデバイス製造業者またはソフトウェア インストール業者とお客様の間で、または (ii) お客様が本ソフトウェアを小売業者から取得された場合は、お客様と Microsoft Corporation (またはお客様の居住地もしくは主たる業務地に応じたマイクロソフトの関連会社の一部) の間で、締結されるライセンス契約書です。マイクロソフトまたはそのいずれかの関連会社が生産したデバイスについてはマイクロソフトがデバイス製造業者であり、お客様が本ソフトウェアをマイクロソフトから直接取得された場合はマイクロソフトが小売業者となります。ボリューム ライセンスのお客様の場合、本ソフトウェアの使用については、本契約よりもボリューム ライセンス契約の方が優先適用されます。

本ライセンス条項は、本 Windows ソフトウェアの使用に関するお客様の権利、義務および条件について規定しています。すべての条項が重要であり、一体となってお客様に適用される本ライセンス条項を形成するため、本ソフトウェアに付属する、追加ライセンス条項も本ライセンス条項の一部と見なされます。

この更新プログラムをインストールするには、ライセンス条項に同意してください。更新プログラムを今すぐインストールしない場合は、このウィンドウを閉じください。

同意してインストール 閉じる

「ダウンロードしてインストール」をクリックし、表示されるソフトウェア ライセンス条項を確認し、「同意してインストール」をクリックすると、Windows 11 へのアップグレードが開始されます。

「Windows 11 へのアップグレードの準備ができました」と表示されていない場合は、「更新プログラムをチェック」をクリックします。



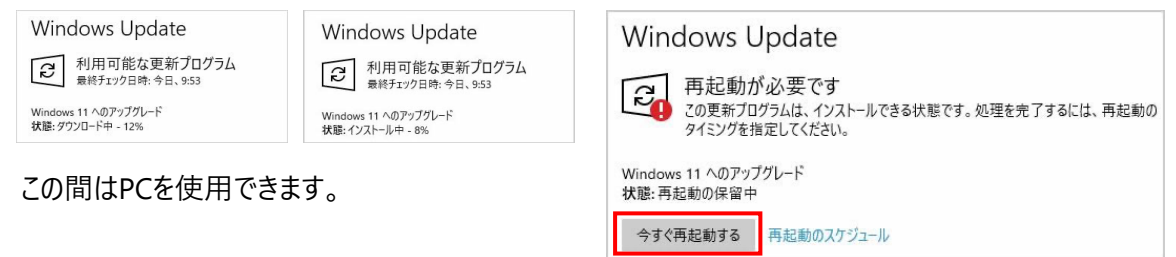
Windows Update

最新の状態で
最終チェック日時: 今日、9:05

更新プログラムのチェック

「更新プログラムをチェック」をクリックしても表示されない場合は、しばらく日時が経過してから再度チェックします。

ダウンロード→インストールと進み、再起動後 Windows 11 へアップグレードが開始されます。



Windows Update

利用可能な更新プログラム
最終チェック日時: 今日、9:53

Windows 11 へのアップグレード
状態: ダウンロード中 - 12%

Windows Update

利用可能な更新プログラム
最終チェック日時: 今日、9:53

Windows 11 へのアップグレード
状態: インストール中 - 8%

Windows Update

再起動が必要です
この更新プログラムは、インストールできる状態です。処理を完了するには、再起動のタイミングを指定してください。

Windows 11 へのアップグレード
状態: 再起動の保留中

今すぐ再起動する 再起動のスケジュール

この間はPCを使用できます。

「今すぐ再起動する」をクリックするとアップグレードが開始されます。再起動をスケジュールすることもできるので、PC を使用しない時間にアップグレードすることもできます。

2 アップグレード

2-3 すぐにアップグレードしたい場合：Windows 11 インストール アシスタント

すぐに Windows 11 へアップグレードする必要がある場合は、Windows 11 インストール アシスタント ツールを利用してアップグレードできます。

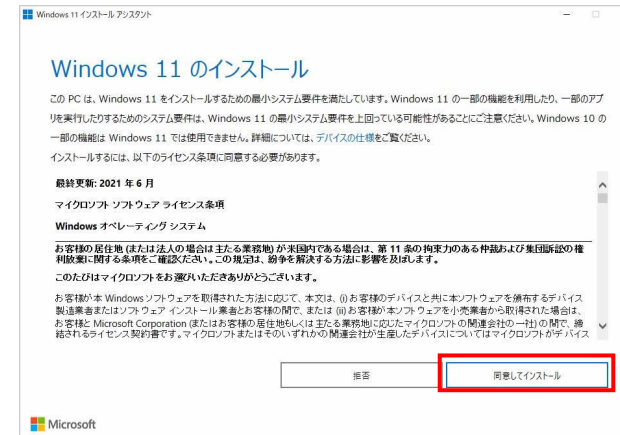
※2-2の Windows アップデートからのアップグレードをお勧めします。



The screenshot shows the Microsoft website page for downloading Windows 11. The main heading is "Windows 11 をダウンロードする". Below it, there is a section titled "Windows 11 インストール アシスタント" with a sub-heading "作業を開始する準備". A red box highlights the "今すぐダウンロード" button.

[Windows 11 インストール アシスタント ページ](#)にアクセスし、「今すぐダウンロード」よりツールをダウンロード後、起動します。

ライセンス条項を確認し、「同意してインストール」をクリックします。



ダウンロードが開始され、Windows 11 へのアップグレードが行われます。



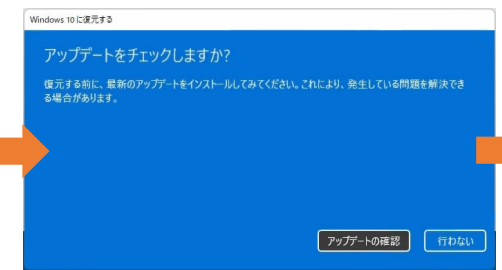
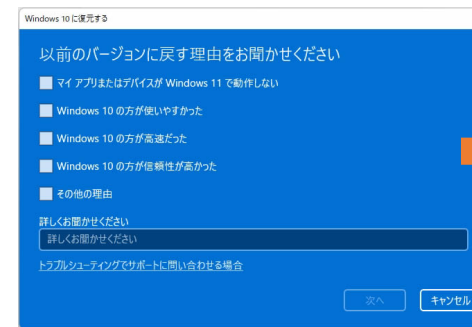
2 アップグレード

2-4 Windows 10 に戻す方法

Windows 11 にアップグレード後 10 日以内なら、Windows 10 へ復元可能です。
[スタート] → [設定] → [システム] → [回復] と進み、「復元」ボタンをクリックすることで、Windows 10 に戻すことができます。

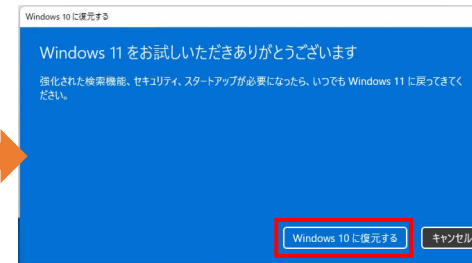
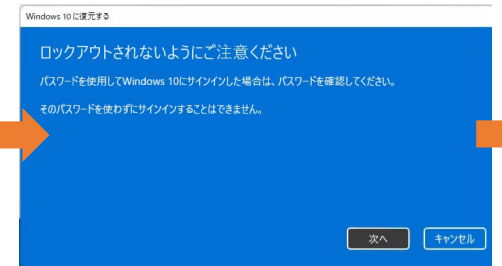
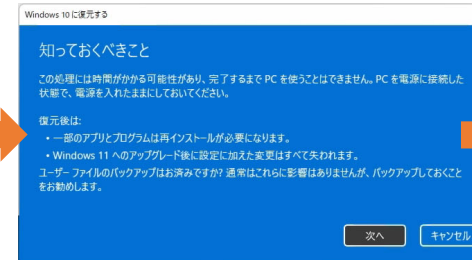


「復元」ボタンをクリック以降の流れ



Windows 11 に問題がある場合はアップデートで解決することもあります

復元理由にチェック



「Windows 10 に復元する」ボタンをクリックすると再起動され、しばらくすると Windows 10 に復元されます。

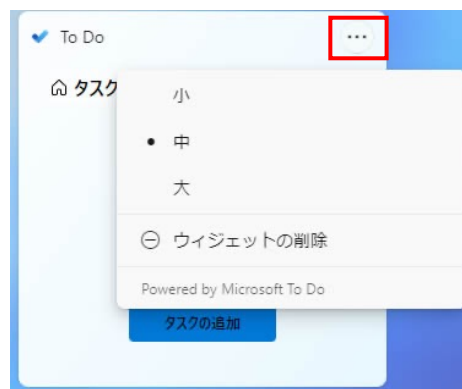
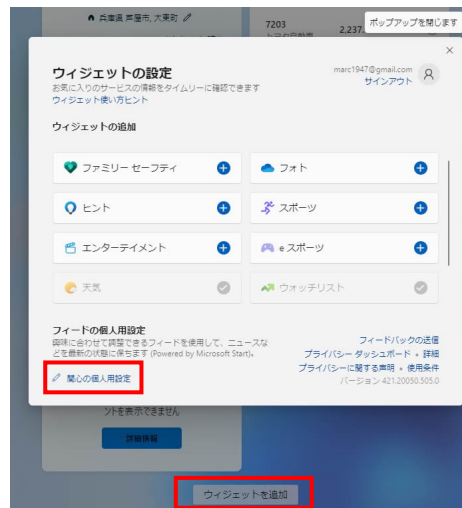
3 Windows 11 で追加された機能

3-1 ウィジェット機能 (ウィジェットの復活)

ウィジェット機能は、ニュースや天気、スケジュールやタスクなどをすぐにチェックするのに便利な機能です。



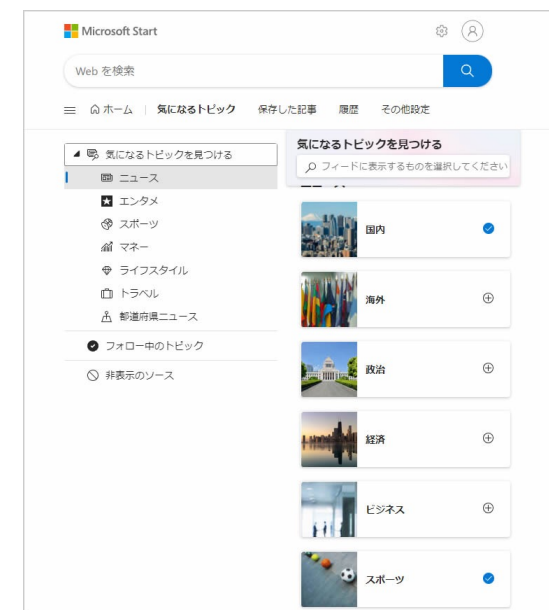
タスクバーのウィジェットアイコンにカーソルを重ねると立ち上がります。



ウィジェットの削除やサイズ変更はウィジェット右上の「...」をクリックします。

ウィジェットを追加するには、「ウィジェットを追加」ボタンをクリックして表示されるメニューから追加します。

さらに、「関心の個人用設定」をクリックすると、Web サイトから、気になるニュース フィードを表示させることができます。



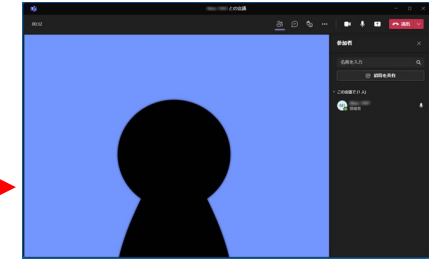
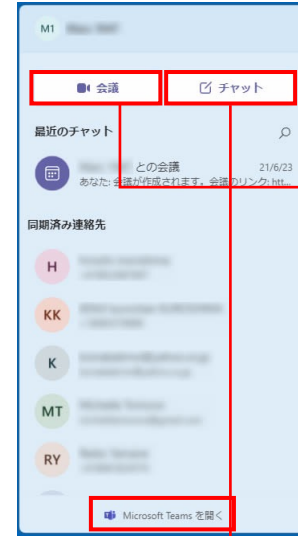
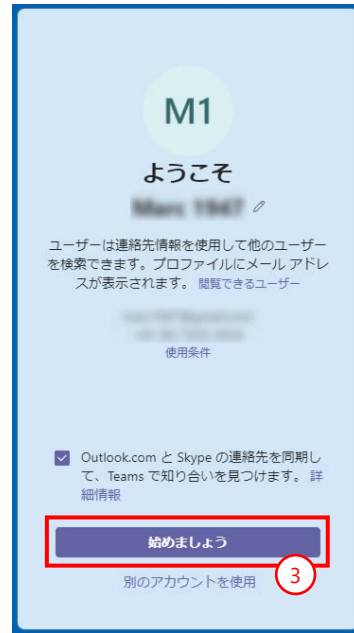
3 Windows 11 で追加された機能

3-2 Microsoft Teams の実装 (新しくなったチャット)

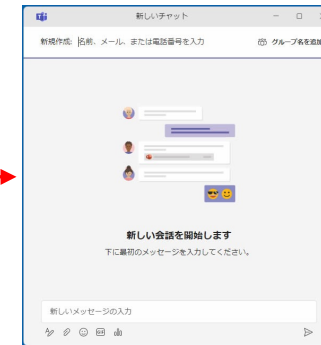
新しくなったチャット機能ですぐ簡単に、友達や家族、職場の仲間とチャットや Web カメラを使ったオンラインでの通話が行えます。



タスクバー上の「チャット アイコン」をクリックし、表示されるウィンドウ内の「使い始める」をクリックします。続いて、自分のプロフィールを編集し、「始めましょう」をクリックします。



Web カメラとマイクを使ったオンライン会議や通話をするには「会議」をクリックします。



チャットをするには、「チャット」をクリックします。

「Microsoft Teams を開く」をクリックすると、Teams が立ち上がります。

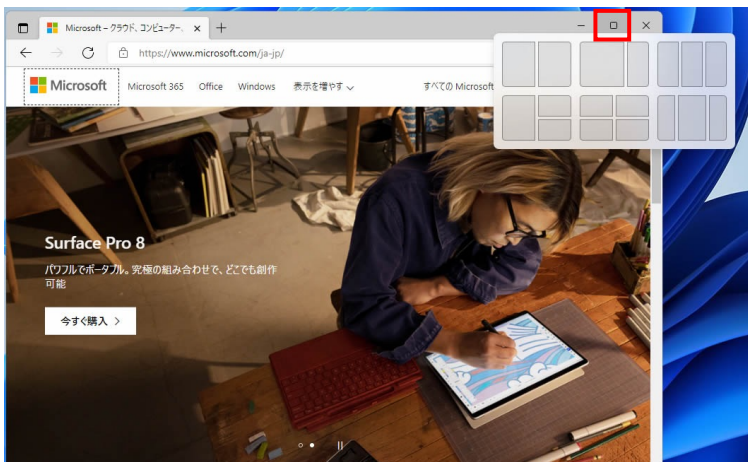
Windows 11 標準の Teams は家庭向けの Teams で、仕事向けの Teams に比べ、機能が限定されており、スケジュールの共有やメンバー管理といった組織的な機能はありません。無料で気軽に誰とでもチャットやオンラインでの会話が楽しめるコミュニティ サークルのようなツールです。

中堅中小企業で Teams を導入されたい方には、[スタータープラン](#)がおすすめです

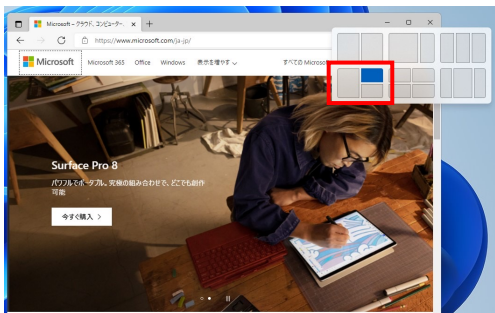
3 Windows 11 で追加された機能

3-3 スナップ レイアウトとスナップ グループ (ウィンドウのグループ化)

スナップ レイアウト機能を使うと、たくさん開いたウィンドウを見やすく簡単に整理することができます。

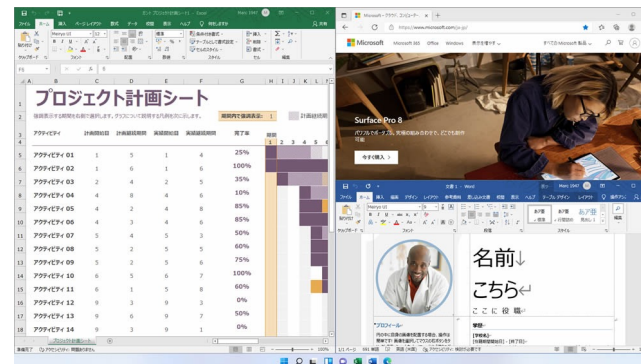


整理したいウィンドウの右上「最大化」ボタンにマウスカーソルを合わせるとレイアウトが表示されます。

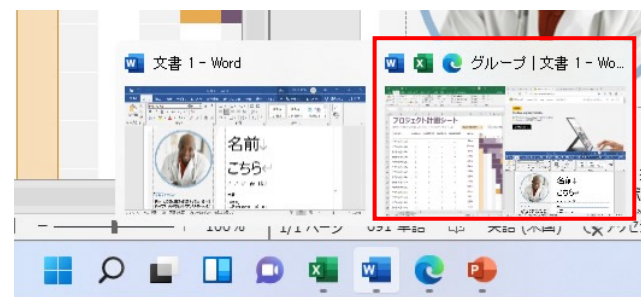


レイアウトを選択し、表示させたい場所を選択していきます。

このように複数のウィンドウが整理されました。



スナップ レイアウトで整理したレイアウトとウィンドウの組み合わせはスナップ グループとして記録され、他のウィンドウを開いても、グループにあるウィンドウのアイコンにマウスカーソルを移動すると、スナップ グループが表示され選択することができます。



3 Windows 11 で追加された機能

3-4 Power Automate Desktop を標準搭載

Power Automate は、定型作業を自動化する RPA (Robotic Process Automation) と呼ばれるツールです。

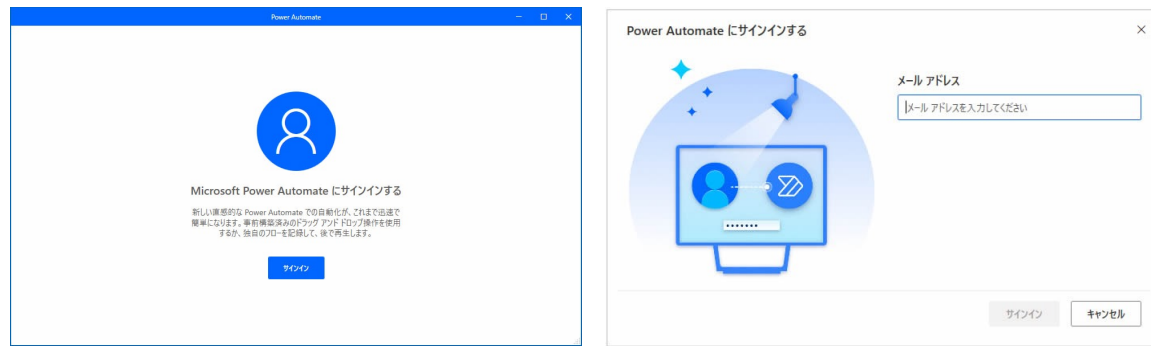
特定の取引先からメールが届いたらプッシュ通知する、自社サイトのアンケート フォームからメールが届いたら、Microsoft Teams の関係メンバー全員に知らせるなど、日々の業務を効率化するのに役立つツールです。

ここでは、Windows 11 に標準搭載された Power Automate のセットアップについて紹介します。

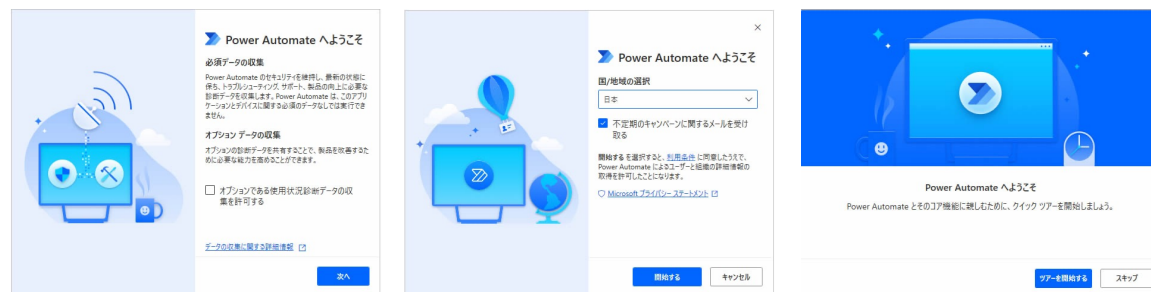


スタートメニューの検索ボックスに「Power Automate」と入力し、表示されるメニューから起動します。

Microsoft アカウントに登録したメールアドレスを入力します。登録メールアドレスにコードが届くので、コードを入力します。



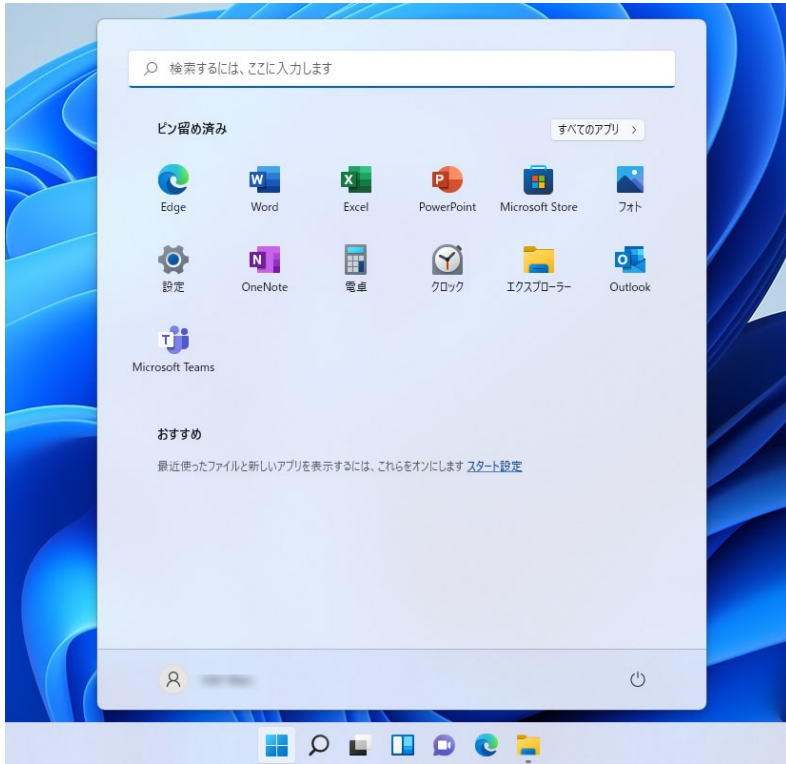
ウィザードに従い進めていくことで、セットアップが完了します。「ツアーを開始する」をクリックし、Power Automate の概要を閲覧しましょう。



4 Windows 11 で変更された機能

4-1 スタートメニュー

Windows 11 では、快適なユーザー体験を提供するため、少しでも早く情報に辿り着けるよう、また、ユーザーにストレスを与えないようにインターフェイスが見直されました。アイコンやウィンドウのデザインが変わり、スタート ボタンがあるタスク バーが中央揃えになったのはそのためです。

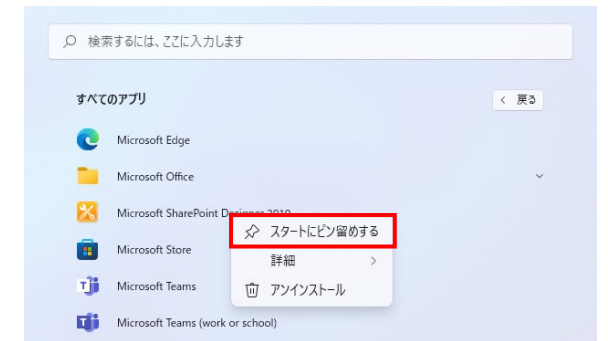


スタート ボタンをクリックするとピン留めされたアプリが表示され、その他のアプリは「すべてのアプリ」をクリックすることで表示されます。「おすすめ」には直前まで使用していたファイルが並びます。

スタートメニューは、メニュー下部にある「スタート設定」から行え、最近追加したアプリやよく使うアプリを表示させることができます。



スタートメニューから非表示にしたいアプリは、右クリックして、「スタートからピン留めを外す」を選択します。



ピン留めしたい場合は、アプリを右クリックして、「スタートにピン留めする」を選択します。

4 Windows 11 で変更された機能

4-2 標準ブラウザ Microsoft Edge と IE の廃止

Windows 11 の標準ブラウザは Microsoft Edge です。Internet Explorer 11 をご利用いただくことはできませんので、ご注意ください。なお、Internet Explorer 11 は、2022 年 6 月 15 日にサポートを終了いたします。

Microsoft Edge の特徴

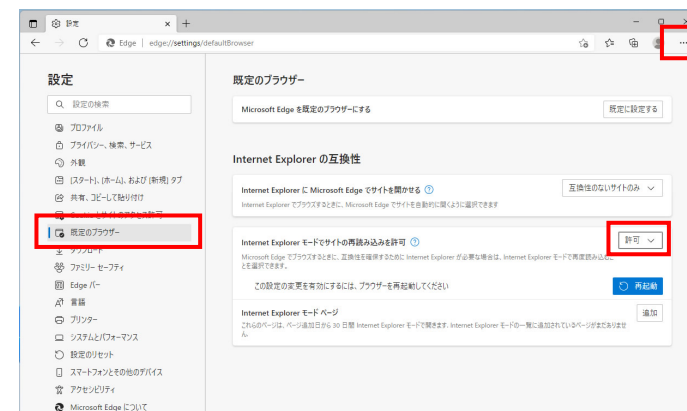
- 起動が早く、動作も早い
- フィッシングやマルウェアに強い
- Windows 以外にスマートフォン、Mac、Linux でも使える
- Microsoft アカウントを使って他のデバイスと同期できる
- 互換性が高く、他のブラウザ用に作成されたサイトも表示できる



機能面では、Web ページをまとめておける「コレクション」、閲覧中の Web ページの QR コードを作成する機能、画面端に簡易ブラウザを常時表示できる Edge バー、書籍の文章校正ツールや音声読み上げ機能など、Web を利用するために便利な機能が数多く搭載されています。

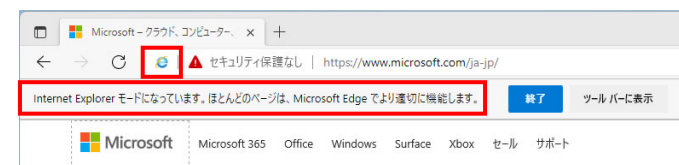
ここでは、Internet Explorer で運用されている Web サービスや Web アプリを Microsoft Edge で動作させる機能「Internet Explorer モード」の設定について紹介します。

Microsoft Edge の右上「...」アイコンをクリックし、[設定] → [既定のブラウザ] と進み、「Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可」を「許可」にし、Microsoft Edge を再起動します。



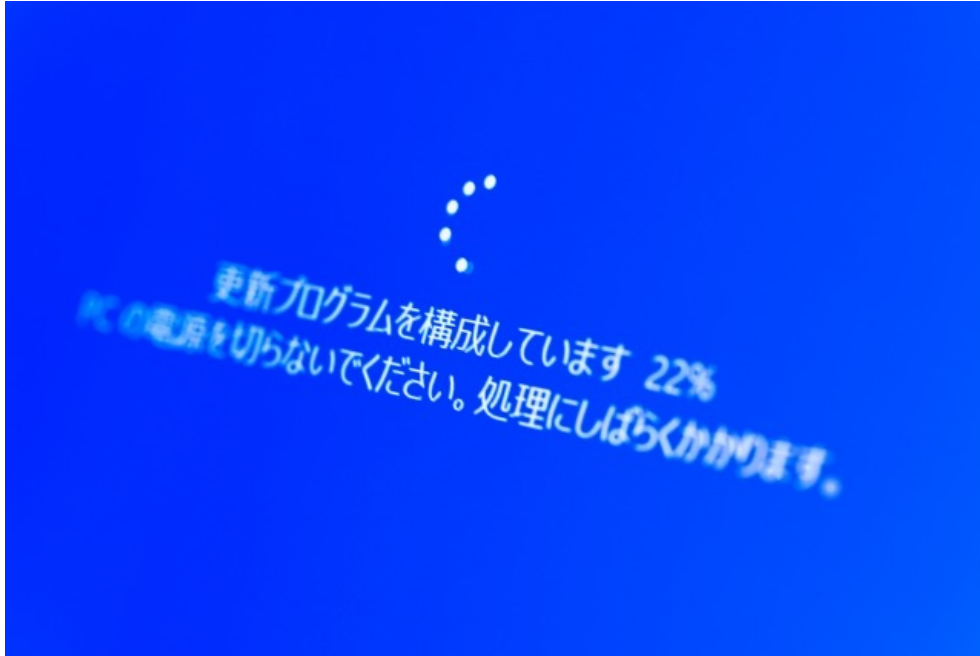
「Internet Explorer モード ページ」の「追加」をクリックし、Internet Explorer モードで表示する URL を追加します。

Internet Explorer モードで表示すると次のようなメッセージが表示されます。



5 Windows 11 でも引き継がれる機能

5-1 WaaS をわかりやすくおさらい



● WaaS とは

WaaS とは、Windows as a Service の略で、OS (オペレーティング システム) を製品ではなく、サービスととらえたもの。

Windows 10 まで、OS のアップグレードは「サービス パック」という製品として新たな機能が提供されていましたが、Windows 10 からは「機能更新プログラム」として定期的に新機能を提供し、継続されるサービスとして提供されるようになりました。

- WaaS の更新頻度の減少により、PC 管理者の負担が軽減されます。



Windows 11 では SAC (Semi-Annual Channel) の更新頻度が、Windows 10 の年 2 回から、年 1 回となります (2022年秋からWindows 10も年1回に変わります)。このことにより、PC 管理者は、機能更新プログラム (Feature Update) の導入検証により多くの時間を割けるようになります。

サポート期間が延長されたことに伴い、Home および Pro エディションのサポート期間は 18 か月から 24 か月に、Enterprise および Education エディションのサポート期間は 30 か月から 36 か月となります。

アップデート ファイルのサイズが 40% 削減され、アップデート中もユーザーは PC を使用できる仕組みが導入されます。

5 Windows 11 でも引き継がれる機能

5-2 ランサムウェアの防止によるセキュリティ強化

Windows セキュリティには、ランサムウェアからの被害を防ぐ機能があります。ランサムウェアはファイルを改ざんし、元に戻すために金銭を要求するマルウェアです。

ここでは、ランサムウェア対策の設定方法を紹介します。



スタートメニューのすべてのアプリから、「Windows セキュリティ」を起動し、「ウイルスと脅威の防止」を選択します。



表示されるウィンドウを下にスクロールし、ランサムウェアの防止の「ランサムウェア防止の管理」をクリックします。



続いて表示されるウィンドウでコントロールされたフォルダーアクセスを「オン」にします。

「保護されているフォルダー」をクリックし、保護したいフォルダーを追加します。

また、「アプリをコントロールされたフォルダーアクセスで許可する」から、保護フォルダーにアクセスできるアプリを制限することができます。

Windows 11での変更点

- 1 Microsoft Teamsの実装 (新しくなったチャット)
- 2 Power Automate Desktop の標準搭載
- 3 Internet Explorer の廃止
- 4 標準ブラウザ- Microsoft Edge
- 5 ランサムウェアの防止 (保護フォルダー)
- 6 スタートメニューの位置変更
- 7 スタートメニューの内容
- 8 アクションセンターの変更
- 9 スナップレイアウトとスナップグループ (ウィンドウのグループ化)
- 10 ウィジェット機能 (ウィジェットの復活)
- 11 Windows Terminal 実装
- 12 ペイントの更新
- 13 Cortana はアプリに
- 14 リモート デスクトップ利用時はサインイン オプションの変更を
- 15 評価ベースの保護
- 16 Home エディションの Microsoft アカウント 必須化
- 17 設定アプリのイメージ変更
- 18 Microsoft Store の変更
- 19 クイック設定の位置
- 20 集中モード設定
- 21 エクスプローラーの見た目
- 22 スタートメニューの右クリック
- 23 新規に設計されたアイコン
- 24 起動音
- 25 タスクのプレビュー
- 26 Snipping Tools
- 27 アラーム & クロックの変更
- 28 WaaS の仕様変更 (更新頻度の減少)

© 2022 Microsoft Corporation. All rights reserved.

※ 記載されている会社名および製品名は商標または各社の登録商標または商標です。

※ 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。※ 使用している画像はイメージです。※ 記載の内容は、2022 年 2 月現在のものです。

日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー

6528-SE1